

わいわいがやがや あがらのまちを皆で考えてみよら会開催

2月22日(土)文化福祉センターに、約90名の市民の皆さんが集まりました。「わいわいがやがやあがらのまちを皆で考えてみよら会」と題して行われたこのシンポジウムは、参加者がそれぞれの立場としてではなく、「有田市民」として、わがまちの魅力や誇りを語り合い、将来に向けてのまちづくりを自分事にとらえ、当事者として出来ることやりたいことを見出し、どう行動するかを考えることを目的に開催。まず、参加者を出迎えたのは、地元保育士さん手作りの会場の隅々を彩る装飾の数々。温かさ溢れる癒しの空間と、会のコンセプトでもあるカフェで友人が集い、会議室で行われる議論ではなく、自分の思いを自由にのびのびと語り合うのにぴったりの空間を演出していただきました。じゃらんリサーチセンター全面協力によるコーディネートのもと、これからどんなことが繰り広げられるのか・・・ドキドキとわくわく感が漂う中、会が始まりました。



豊かな自然や
名所がいっぱい!

みかん、夕千ウオ...
新鮮な海の幸、山
の幸がサイコウに
美味!

やっぱり人と人
のつながりって
大事よなあ〜。

ありたいまちに
向けて第一歩を
踏み出すぞ!

まちが盛り上がる
イベントやろ
らよ!

もっと子育てし
やすいまちにで
きたらなあ...

有田市の良いと
ころが再確認で
きたわ!

会場に「わいわいがやがや」トークの花が咲き、時計が会の終了時刻を告げた時、参加者から「5時間のプログラムだったけど、あっという間だった」「本音を夢中で話せて楽しかった」「他の参加者から自分になり気持ちは聞いて刺激的だった」「まちのいいところを再認識できた」「意識づけが大切だと実感した」などたくさんの声が聞かれたと同時に、帰路に着くその表情にも決して疲れだけでない清々しさ、晴れやかさがうかがえました。この日感じたそれぞれの思いや内からこみ上げた感情を参加者一人ひとりが主役となり、市民協働の名のもと、どう生かし、熱い思いを共有した仲間と共にどんな大きな一歩を踏み出していくのか・・・皆さんの今後を期待します。

まちづくり懇談会開催 ~ まちの誇りをみんなで感じとる ~

まちづくりのキーワード

将来ビジョンを描き、地道に一步一步継続して、着実に具現化していく

安全・安心で誇れるまちづくり

- 防災・減災対策
- まちの誇りの継承と活用
- 健康づくり・人づくり
- 市民協働による未来創造



まちづくり懇談会は各地区の連合自治会長さんの司会で進行し、望月市長がこれまで取り組んできたまちづくりの経過をキーワード毎に参加者の皆さんに一つずつ説明しました。

2月17日(月)の保田地区を皮切りに、3月14日(金)の宮崎地区の計8地区において、まちづくり懇談会を開催いたしました。

このまちづくり懇談会は、連合自治会の皆さんと協働で、2年に一度広報広聴事業の一環として、直接市民の皆さんと市長が意見交換を行う場として取り組んでおり、今回も延べ545名の市民の皆さんにご参加いただきました。

市長からは、誇れるまちづくりに向けての想いや今後の課題、また、これまでの取り組んできたまちづくりについて説明させていただきました。

また意見交換会では、市民の皆さんから、郷土愛に満ちたご意見やご提言を多く寄せていただきました。すぐに対応できるものは実行し、時間がかかるものについては、地域の方々はじめ、関係機関とも協議してまいりますので、ご理解・ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

今後も市民の皆さんと協働で、引き続きよりよいまちづくりを推し進めていくため、今回、参加できなかった方につきましては、市長の手紙等を活用し、皆さんのご意見・ご提案を市政に届けていただきたいと思います。

皆さんから出されたご意見・ご提案の一部を抜粋し、市ホームページに掲載するとともに、広報紙にも随時掲載させていただきます。



参加された市民の皆さんから本当に多くのご意見、ご提言をいただきました。今後のまちづくりの参考にさせていただきます。

